

日本救急医学会関東地方会  
平成 31（令和元）年度 幹事会 議事録

日 時：平成 31 年 2 月 2 日（土）12：30～13：20

会 場：つくば国際会議場 第 2 会場（1F・多目的ホール）

〒305-0032 茨城県つくば市竹園 2 丁目 2 0 - 3 TEL：029-861-0001

出席役員

常任幹事：三宅 康史（常任幹事長）、河野 元嗣（会長）、田中 裕、武田 宗和、中野 実（次期会長）、  
松田 潔

監 事：坂本 哲也、山口 芳裕

以上のとおり、出席者を確認し、会則第 17 条の規定により、三宅 康史 常任幹事長が議長となり、議長が開会を宣言し、議事に先立ち議事録署名人として櫻井幹事、武田幹事が選任された。

#### 新幹事推薦(三宅常任幹事長)

新幹事 16 名の推薦が行われた。今回の候補者については、会員歴、会費納入状況等の資格について事務局が調査済みであり、先に行われた常任幹事会で承認済みであることが報告された。新幹事 16 名が承認され、出席の新幹事より就任の挨拶があった。

#### 常任幹事・監事改選について(三宅常任幹事長)

次期常任幹事 6 名、次期監事 2 名の立候補者が示された。それぞれ会則に定められた定数ちょうどであることが確認され、立候補者全員が次期常任幹事・監事として就任することが承認された。

#### 物故会員黙祷(三宅常任幹事長)

庶務報告に先立ち、物故会員(名誉・鈴木 忠 先生)が報告され、黙祷をおこなった。

《報告事項》

#### 1. 庶務報告(河野常任幹事)

2018 年 12 月 31 日時点での総会員数は 1,133 名(うち新会員 143 名)、退会者数 146 名(うち 124 名は会費滞納による自然退会)との報告がされた。会員数はほぼ横ばいから微減で推移している。また、プログラム登録初年度に限り会費を免除するとした救急科専門研修専攻医の入会は 12 名(平成 31 年度入会 2 名)だった(なお、関東地方のプログラム登録人数は 117 名)。

#### 2. 各常任幹事担当報告

各担当常任幹事より部会および委員会について活動報告が行われた。

##### ① 看護部会(佐藤常任幹事)

2018年度は学術総会時に運営委員会および施設代表者会を開催、また6月に1回看護部会運営委員会が開催されたことが報告された。

また、看護部会の拡大を企画し、第1回日本救急医学会関東地方会看護部会主催シンポジウムを8月26日(日)日本大学病院5階大講堂にて開催したことが報告された。テーマを「地域包括ケア時代における救急医療」とし、講師・スタッフは24名、参加者は61名であった。

#### ② 救急隊員部会・関東地方MC検討委員会(松田常任幹事)

同日開催の第69回日本救急医学会関東地方会学術集会会場にて開催予定の第5回関東地方MC協議会連絡会について、担当の松田常任幹事より報告された。「傷病者の意思に沿った救急現場における心肺蘇生の実施と搬送」をテーマとし、同テーマに沿った各都県メディカルコントロール関係者からの発表等を予定している。

#### ③ SOS-KANTO委員会・他施設研究検討委員会(武田常任幹事)

SOS-KANTO2017の検討内容や予定について、担当の武田常任幹事より報告された。

2018年度中に運営会議を2回開催し、年末に登録項目選定を決定した。PICOは約90件の応募があり、精査をすすめている。

実施計画書が提示され、昨今のこうした研究の一般的な取り扱いを鑑み、研究代表者を常任幹事長から委員長にしたいとの要望が委員会からあったと報告があり、常任幹事会として了承された旨が報告された。本件について議場に諮ったところ、異論なく承認された。

参加施設は募集を継続する。

#### ④ 関東地方災害医療検討委員会(河野常任幹事)

本日の第69回(平成29年)日本救急医学会関東地方会にて関東災害医療連絡会議は開催しないことが報告された。

#### ⑤ 編集委員会(田中常任幹事)

日本救急医学会関東地方会雑誌第39巻2号を編集、発行した。

昨年度の第68回(平成30年)日本救急医学会関東地方会での演題発表270件から46本(医師部会:41本、看護部会:5本、救急隊員学術研究会:0本)の投稿があり、投稿率は17.0%と、例年と比べても非常に低調であった。最終的に掲載された論文は55本(医師部会:50本、看護部会:5本、救急隊員学術研究会:0本)となり、査読継続2本、投稿辞退2本、論文受理率は100%となった。

学会誌のペーパーレス化については予定通り実施されたが、電子版登載スケジュールの都合から急遽2号と3号に分けられた。2号は登載済み、3号は2019年1月末までに搭載予定である。進行についてのスケジュールは例年通りであった。

#### ⑥ ホームページについて(田中常任幹事)

定例通りに更新が行われていることが確認された。

### 3. 第 69 回(平成 31 年)日本救急医学会関東地方会について(河野会長)

参加者は 11 時 30 分現在、医師 336 名、看護師 158 名、その他 31 名、また救急隊員学術研究会は事前登録 393 名、当日受付 149 名で総計 1067 名の参加があり、盛況に開催されていると報告された。

### 4. 第 70 回(2020 年)日本救急医学会関東地方会(中野次期会長)

第 70 回日本救急医学会関東地方会・第 57 回救急隊員学術研究会を 2020 年 1 月 18 日(土)に前橋市・ベシア文化ホールおよび前橋商工会議所(隣接)にて同日開催することが報告された。

《審議事項》

#### 1. 2018 年決算報告(河野常任幹事)

年会費収入については幹事・一般会員共に納入状況が例年より良好であった。また、8 月の看護部会シンポジウムの際に 6 名新規入会があった。刊行費については電子化により予算比で黒字となった。予算設定されていなかった看護部会シンポジウムについては、予定通りおおよそ支出と収入が同額での実施ができた。結果として、160 万円の赤字予算が 50 万円まで赤字圧縮できた。

以上の決算について坂本・山口監事による監査が行われている旨が報告され、2018 年度決算が承認された。

#### 2. 2019 年予算について(河野常任幹事)

収入については会費収入 640 万円、補助金 20 万円、その他 30 万円のおおよそ計 690 万円を見込む。広告費は学会雑誌の電子化に伴いゼロとなる。その他の額面は主に前年度決算額を参考に計上した。

支出については刊行費 200 万円、地方会補助費 220 万円、会議費を 10 万円、同実施時交通費 15 万円等々を見込み、支出合計は約 674 万余円となる。トータルで 15 万余円の黒字予算となる。

議場に諮られ、2019 年度予算が承認された。

#### 4. 名誉会員推戴について(三宅常任幹事長)

石川 雅健 先生、猪口 貞樹 先生、渋谷 正徳 先生を名誉会員として推戴することが承認された。

#### 5. 次々期会長について(三宅常任幹事長)

2021 年開催の第 71 回日本救急医学会関東地方会(学術集会)の会長として、杏林大学救急医学の山口芳裕先生が就任することが承認された。

#### 5. その他

昨年度幹事会でパブリックコメントの募集等について案内があった学会名の英表記について「Japanese Association for Acute Medicine of KANTO」と平成 30 年第 2 回常任幹事会で定めたことが報告された。

以上  
議事録作成：事務局 戸井田 恵一

上記決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録署名人が次に記名押印する。

平成 31 年 2 月 2 日

日本救急医学会関東地方会 平成 31 年度 幹事会

議 長 : \_\_\_\_\_ 印

署名人 : \_\_\_\_\_ 印

\_\_\_\_\_ 印

【捨印】

印

印

印